

看護大学 だより

#20

新しい学び・人・キャンパス
福岡看護大学の魅力を
ご紹介します！



科学的根拠に基づいた看護・ 保健活動の実践を目指して

地域・在宅看護部門

吉田 大悟

私は保健師養成課程の必須科目である公衆衛生看護学や疫学・統計学を専門分野としています。

疫学は人を対象として研究を行い、病気の原因や健康に関連している要因を明らかにしていく学問です。疫学で得られた結果は科学的根拠といわれ、医学・看護学・保健学などの進歩に活かされています。そして得られた結果が偶然ではなく確かであるかどうか、科学的に検証する時に統計学が用いられます。例えば、煙草を吸うと肺がんになりやすいか調べる時には、煙草を吸う人々と吸わない人々がそれぞれ将来肺がんになるか調査し、煙草を吸う人の方が肺がんになった割合が多かったとしても、その結果が偶然起こったのではないか、統計学を用いて科学的に検証することが必要です。私は前任校の九州大学で、地域に住んでいる高齢者の重要な健康課題である認知症や要介護状態の原因や予防方法について研究を行うとともに、その結果を活用した自治体の健康政策の策定をお手伝いしてきました。

これまでの経験を活かして、科学的根拠に基づいた看護・保健活動が実践できる看護師・保健師の育成に尽力していきたいと考えています。

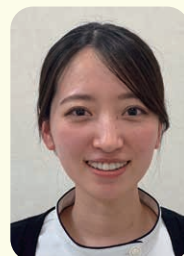


短大 VOICES #20

夢を叶える場所
「福岡医療短期大学」
多くの出会い・絆を育んでいる
短大の情報をお届け！

福岡医療短期大学
20期生

堤 玲奈



私は福岡医療短期大学 歯科衛生学科を平成30年に卒業（20期生）後、専攻科へ進学、口腔外科を専攻し、現在は広瀬病院（福岡市中央区）の歯科口腔外科に勤務しています。広瀬病院は、乳腺外科・緩和ケア内科・歯科口腔外科の顎変形症手術に特化した病院で、病床数は一般病棟 緩和ケア病棟合わせて63床あります。私の歯科衛生士としての業務は、口腔外科外来で行う手術の準備や補助、顎変形症や周術期の口腔管理が中心となっています。手術を受ける患者や緩和ケア病棟（ホスピス）の患者の口腔内の状態は様々であり、周術期では患者個人に合ったケアや指導を行えるよう、日々勉強しています。また、医師や看護師との勉強会にて、口腔が全身に与える影響と口腔ケアの重要性について、講演する機会をいただき、多職種で連携したチーム医療で、最善の口腔ケアを行えるよう努めています。今後も口腔から全身に、生活の質（QOL）の維持・改善を図り、少しでも笑顔で快適に過ごしていただけるようサポートすることが私の役割であると考えています。

